

下水道公社だより



しずくちゃん

- 清らかな 流れを未来へ 下水道 -



すいてきくん

2002年4月 創刊号

季刊誌『下水道公社だより』創刊のご案内

(財)福島県下水道公社は、福島県から委託されている阿武隈川上流流域下水道等の終末処理場（県北浄化センター、県中浄化センター、あだたら清流センター）の維持管理業務を始めとして、下水道に関する各種調査研究、技術者の養成、普及啓発、公共下水道事業などの認可設計及び実施設計の受託、流域関連公共下水道の水質分析の受託、下水道排水設備工事責任技術者の資格認定登録業務など多

岐にわたる事業を展開しております。この度、当公社におけるこれらの業務等の紹介や下水道に関する情報の発信等を目的に季刊誌『下水道公社だより』を発刊することとなりました。この季刊誌が、下水道関係に携わる方々のお役に立てば幸いかと思っております。

なお、本季刊誌は4、7、10、1月の年4回発行し、皆様にお届けする予定にしております。

『ISO14001認証取得』のご挨拶

平成12年度末から取り組んでおりました公社の全ての事務・事業に関する環境マネジメントシステムについて平成14年3月22日に国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。(登録番号EC01J0340)

この認証取得は、全国の都府県設立の下水道公社等では5番目で、東北地方では最初となります。



認証取得により、公益法人である公社のこれからの各種事業に対する基本姿勢を内外に示す有効な機会となり、また、社会的責任の履行に対する信用の蓄積とイメージの向

理事長 平井良一
上が図られ、より安定的な経営を目指すこととなりました。

終末処理場の維持管理をはじめとし、全職員が日常の事務・事業活動を通じて水環境の保全是もとより、美しく清らかな水環境の創出に努め、自然と調和した快適な生活環境を将来の世代に継承する責務を認識し地球環境の保全に貢献したいと考えております。

「基本方針」の重点項目として次の5項目を定め、これらに向けて最大の努力をし、継続的に改善していく考えでありますので、ご指導、ご協力をお願いいたしましてISO認証取得の報告と挨拶いたします。

〔ISO14001重点項目〕

1. 水環境の保全のため良好な水質の確保に取り組みます。
2. 下水処理に伴い発生する臭気など生活環境の不快な要因についてその発生の防止に努めます。
3. 資源・エネルギーの効率的な活用と消費の削減に努めます。

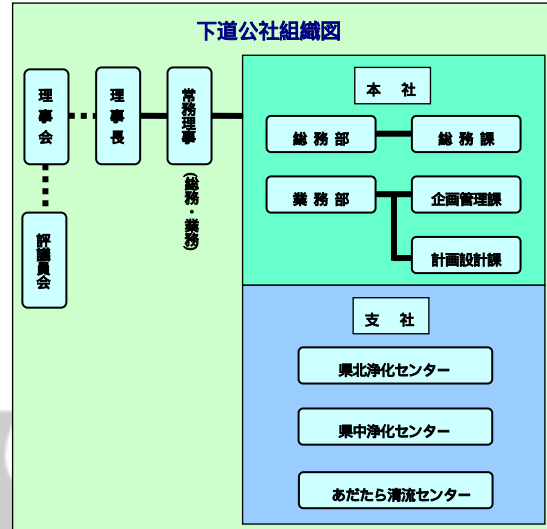
4 .廃棄物の減量化・再利用化について、その方策を多面的に検討し実施します。

5 . 下水道への理解を深めるため、普及啓発に努めます。

下水道公社の組織改編について

当公社の主たる業務である福島県からの流域下水道施設維持管理受託業務の本社における管理事務、及び下水道事業関連の総合企画、下水道に関する普及啓蒙、調査研究、排水設備責任技術者認定業務等を一元的に担当するために、業務部を再編し企画管理課が新設されました。

また、下水道設計等の受託事業等を行ってきた計画第1課及び計画第2課が統合され、計画設計課に生まれ変わりました。今後も、基本構想の策定から工事監理まで、一連の下水道事業の総合的な技術支援を行っていきます。



下水道事業相談業務のご案内

当公社では、市町村の皆様の下水道事業を支援するため、下水道の計画、設計、積算、維持管理等の相談について、助言等を行う「相談業務」を実施しております。下水道についての

悩みごと、困りごとなどがございましたらお気軽にご相談ください。

なお、詳細については当公社のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

【編集後記】

今年の桜の開花は各地で例年になく早い開花となり、4月2日、福島市でもソメイヨシノが満開となりました。これは平年より13日、昨年より10日それぞれ早く、1953年の観測開始以来、最も早い記録だそうです。

この暖かさに誘われて、下水道公社本社近くを流れる阿武隈川河畔では満開の桜のもと、散策を楽しむ人々が見受けられました。写真は、満開となった県庁裏の桜と阿武隈川。

(4月2日撮影)



財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103

福島市舟場町2番1号

福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代) FAX024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: info@fspc.or.jp

本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。